

一次救命処置: BLS(Basic Life Support)

「救急車が到着するまでの間、何かできることはありますか?」との質問から「一般市民の方ができる一次救命について説明します。

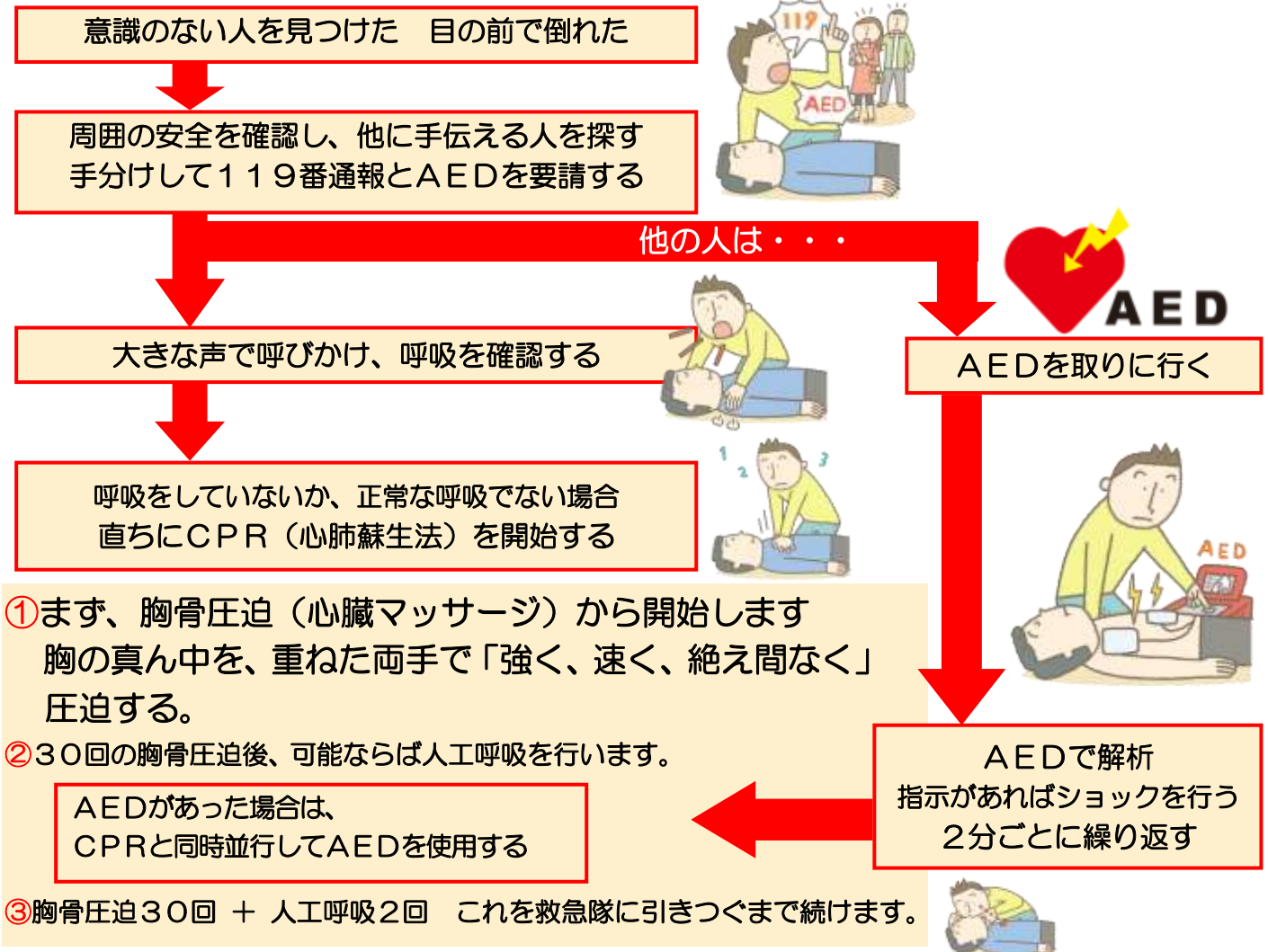
* 一次救命処置 (BLS) について

BLSとは Basic Life Support (一次救命処置)の略称です。一次救命処置とは、急に倒れたり、窒息を起こしたりした人に対して、その場に居合わせた人が、救急隊や医師に引継ぐまでの間に行う応急手当のことです。専門的な器具や、薬品などを使う必要がないので、講習を受け、正しい知識と適切な処置の仕方さえ知っていれば、誰でも行うことができます。

* AED (自動体外除細動器) について

平成15年より緊急時には一般市民の方も自動体外除細動器(AED)を使用することができるようになっています。これにより心停止者の救命率を上げることが期待できるようになりました。

* 一般市民の方用一次救命処置 (BLS) 手順 (成人に対して)



♪ お問い合わせ先 看護部救急認定看護師 ♪

♪ 多摩南三二通信をご希望の方は、患者支援センター地域連携部門までお問い合わせください ♪

今月の医療 眼科

白内障に対する新しい医療があります！！

白内障は、目のレンズの役割をする水晶体と呼ばれる部分が濁ってしまう病気です。通常は、手術で濁った水晶体の中身を取り除き、人工のレンズ（眼内レンズ）を挿入します。

眼内レンズには大きく分けて「単焦点眼内レンズ」と「多焦点眼内レンズ」があります。単焦点眼内レンズは、近くや遠くなど1点にしかピントが合わないというデメリットがあります。

そのため近年では、近くも遠くもピントが合うレンズ「多焦点眼内レンズ」が注目されています。

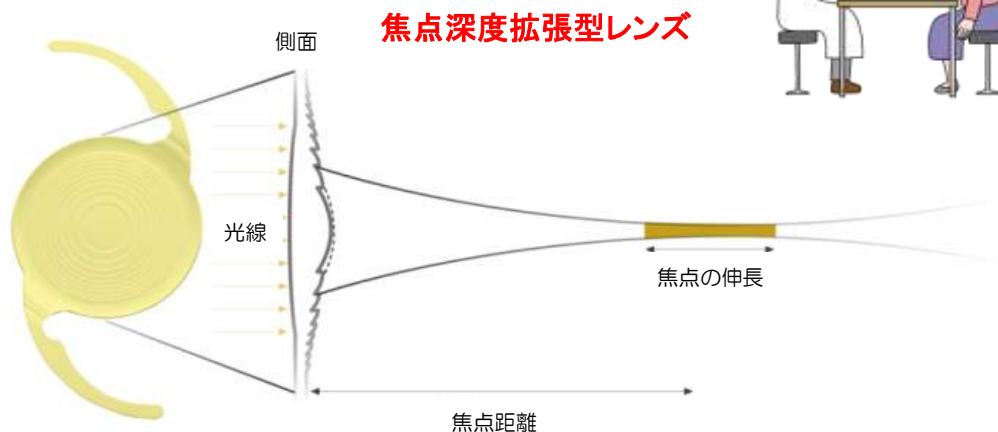
しかし、多焦点眼内レンズは、レンズの構造上、単焦点眼内レンズに比べると、見え方の質の低下や、夜間に光がにじんで見える、眩しく見えるといったデメリットもあります。また、焦点が遠くと近くの2ヶ所に設定してあるため、中間距離においては視力が低下してしまうということがありました。

今回、従来の多焦点眼内レンズのメリットを活かしながら、デメリットの部分を改良した多焦点眼内レンズが発売されました。

これにより、遠くから近くはもちろん中間距離も自然な見え方が期待できるようになりました。



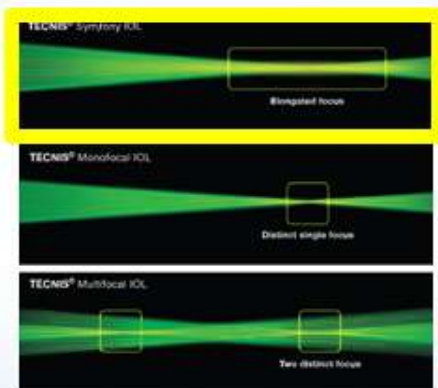
テクニス シンフォニー
オプティブルー



焦点深度を拡張するエシェレット回折構造



独自のエシェレット回折構造が、新たなパターンの回折光を生み、焦点深度の拡張効果をもたらす



焦点深度拡張型レンズ

単焦点レンズ

2焦点レンズ

但し、目の状態によって多焦点眼内レンズが適応できない場合もありますので、医師と十分に話し合って決めていただくことが必要です。

また、多焦点眼内レンズ挿入術は、先進医療に認定されていますが、実際の費用については医療施設によって異なります。（当院では、保険適応外での対応となります。）

眼科 部長 百野 伊恵

☆当院は紹介予約制の医療機関のため、まずは、かかりつけ医にご相談いただくようお願いいたします。